

令和7年度大学コンソーシアムやまがた第2回幹事会議事録

日 時：令和7年6月17日（火）14：30～15：05

場 所：山形大学法人本部第一会議室及びZoom使用によるWeb会議

出席者：

委員長 大 森 桂（山形大学）
副委員長 若 林 宏（東北芸術工科大学）
鈴木 隆（東北文教大学・東北文教大学短期大学部）
鐘 水 功 泰（山形県立保健医療大学）
星 孝 浩（山形県立米沢栄養大学・山形県立米沢女子短期大学）
代理：佐々木謙介（総務企画課長）

委 員 高 桑 秀 郎（羽陽学園短期大学）
斎 藤 菜 摘（鶴岡工業高等専門学校）代理：伊藤滋啓（准教授）
小 関 俊 宏（電動モビリティシステム専門職大学）
三 木 潤 一（東北公益文科大学）代理：白田裕司（教務学生課長）
富 樫 晃（東北農林専門職大学附属大学校）
齋 藤 満 宏（山形県）
代理：長岡明宏（高等教育政策・学事文書課主査）
高 橋 昌 之（山形県立産業技術短期大学校庄内校）
代理：音山充徳（教務学生主幹）

小 幡 知 之（山形工科短期大学校）
栗 山 恭 直（企画会議委員長／山形大学）

欠席者： 小 沢 互（東北農林専門職大学）
板 垣 洋 子（山形県立産業技術短期大学校）
佐々木 紀 子（放送大学山形学習センター）

陪席者： 奥 野 貴 士（山形大学データサイエンス教育研究推進センター長）
柿 崎 悦 子（山形大学ダイバーシティ推進室准教授）
東海林 守 一（山形大学総務部長）
樋 口 浩 朗（山形大学総務部長付上席専門員兼社会共創推進事務室長）
石 澤 慎太郎（山形大学総務部総務課社会共創推進事務室係長）

事務局： 舟 橋 信 治（大学コンソーシアムやまがた事務局長）
今 田 健 太（大学コンソーシアムやまがた事務局員）

会議に先立ち、事務局から今年度新たに委員になった9名の紹介及び幹事会成立の報告があった。

〔報告事項〕

1 令和6年度事業報告（案）について

事務局から、令和6年度事業報告（案）について、資料1に基づき報告があった。

また、令和6年度の第2回幹事会において報告した「やまがた夜話」申込フォームの設定不備による情報セキュリティインシデントについて補足説明があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。(◎:意見等, ○:回答)

- ◎ 「遊学館との協働事業の開催」の欄に、企画会議において追加報告のあった東北文教大学の学生の取組みを追加してはどうか。
- 東北文教大学の学生の取組みを事業報告書に追加して総会用にしたい。

[協議事項]

1 令和6年度収支決算(案)について

事務局から、令和6年度事業報告(案)について、資料2について以下のような説明があった。
(収入について)

- ・ 預金利息について1,633円を増額補正した。

(支出について)

- ・ 「共同教育事業」については、単位互換の推進チラシの発行部数の減により16,600円の減額補正となった。
- ・ 「県内進学推進事業」については、振込手数料が発生したことにより1,650円を増額補正となった。
- ・ 「地域連携・活性化事業」については、やまがた夜話の講師旅費が発生したこと等により1,838円を増額補正となった。
- ・ 「大学コンソーシアムやまがた運営費」の共通経費については、人件費の社会保険料及び税金の支払い等により174,729円を増額補正となった。

その結果、決算額が2,994,952円となった。

以上、収入決算額5,793,442円から支出決算額の2,994,952円を差引いた2,798,490円が、令和7年度への繰越額となる。

なお、前年度に比較して約100万円程の支出減による繰越増となっているが、これは事務局職員人件費が職員の退職による空白期間が生じたこと及びプリンタートナー等の消耗品購入減によることが要因となる旨、補足説明があった。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

2 監査報告について

事務局から、令和6年度の会計監査について、5月20日に米沢栄養大学長の阿部監事、5月27日に山形県総務部長の小中監事から監査をしていただき、定期総会において監事から資料3に基づき報告願う予定である旨の説明があった。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

3 令和7年度事業計画(案)、収支予算(案)及び機関負担金について

事務局から、令和7年度事業計画（案）については、新たに策定した「第4期事業計画」に基づき事業を展開する旨、資料4に基づき説明があった。

引き続き事務局から、収支予算（案）について、以下のような説明があった。

（収入について）

- ・ 資料5－1の収支予算書（案）の機関負担金（会費）収入については、昨年6月に開催の定期総会において資料5（参考）のとおり承認されているが、令和6年度からの繰越金が、2,798,490円となるため、資料5－3のとおり、機関負担金を減額する修正案を作成した。
- ・ 減額については、機関負担金の負担金対象者数1人あたりの単価を211.5円から50円に引き下げることとし、併せて、収容定員の変更による変更及び電動モビリティシステム専門職大学からの機関負担金免除申請に伴う変更を行い、1,272,760円減額の2,782,000円となる。
- ・ 機関負担金収入、繰越金及び雑収入100円を見込んだ合計5,580,590円を収入予算額とする。

（支出について）

- ・ 支出について、事業毎の予算は、令和6年度の当初予算を基に計上している。
- ・ 新規事業の「共同教育事業」は、大学等と地域が連携して取り組む地域課題プロジェクトとして100,000円を計上している。

収入予算5,580,590円から支出見込額4,755,000円を引いた残り825,590円を予備費とした。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

4 令和8年度機関負担金（会費）（案）について

事務局から、資料6に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 例年、来年度予算の要求に必要な機関等もあり、この時期に翌年度の負担金を示している。
- ・ 昨年度の総会において確認いただいた令和7年度負担金を基に、令和7年度の収容定員で計算している。
- ・ 機関負担金については、令和6年度の繰越金が2,798,490円となったため、機関負担金の負担金対象者数1人あたりの単価を211.5円から130円に引き下げることとし、併せて、収容定員の変更による変更を行い、3,836,250円とした。
- ・ 電動モビリティシステム専門職大学、東北農林専門職大学については、新設した機関への配慮として、完成年度までは、入会時の負担額とするよう提案している。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。（◎：意見等，○：回答）

- ◎ 昨年度の繰越金が多かったことにより、、負担金対象者数1人あたりの単価を211.5円から130円に減額したという理解で良いのか。
- 以前にも繰越金が多い際には機関負担金を減額している。

次いで、委員長から本件について諮られた結果、承認された。

[その他]

1 その他

1. 山形大学からの相談について

山形大学データサイエンス教育研究推進センター長の奥野教授から、資料7に基づき、教材の学外展開に向けた連携構想(案)について、以下のような情報提供があった。

- ・ 本構想は、大学コンソーシアムやまがたを中心とした大学間の教育連携プラットフォームを構築し、数理・データサイエンス・AI 分野における教育資源の共有と活用を通じて、情報系教育の質の向上および教員不足の解消を図るものです。さらに、社会人向け教材を展開し、地域課題の解決に貢献し得るデジタル人材の育成・輩出を目指したい。
- ・ 本件について関心のある機関があれば、本センターへ照会願いたい。

【配付資料】

次第

資料一覧

番号なし

- ・ 幹事会名簿
- ・ 会則

資料1	令和6年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書
資料2	令和6年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書(案)
資料3	監事監査に関する資料
資料4	令和7年度 大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案)
資料5-1	令和7年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書(案)
資料5-2	令和7年度 大学コンソーシアムやまがた機関負担金の免除について(申請)
資料5-3	令和7年度 機関負担金(会費)(修正案)
資料5(参考)	令和7年度 機関負担金(会費)(令和6年度定期総会承認)
資料6	令和8年度 機関負担金(会費)(案)
資料7	教材の学外展開に向けた連携構想(案)

議事録署名人

幹事会委員長／山形大学副学長

大森 恒